

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ： 一般国道495号 <small>とうのはる</small> 唐原拡幅 <small>ふくおかしひがしくとうのはる</small> 起終点 ： 福岡市東区唐原1丁目 <small>ふくおかしひがしくわしろ</small> 福岡市東区和白3丁目	事業区分 ： 2次改築	事業主体 ： 福岡市 延長 ： 2.1km
--	-----------------------	--

事業概要：
 本路線は、福岡市と北九州市を結ぶ主要幹線道路であるとともに、福岡都市圏東部地域と博多港及び本市中心部を結ぶアクセス道路でもある。また、沿線は大学や住宅が密集しており、特に和白交差点は主要渋滞ポイントであり、交通渋滞が慢性化している。よってこれを解消し、良好な生活環境を形成するため、道路整備を行うもの。

H8年度事業化	S21年度都市計画決定 (H9年度変更)	H9年度用地着手	H10年度工事着手
---------	-------------------------	----------	-----------

全体事業費	132億円	事業進捗率	86%	供用済延長	1.5km
-------	-------	-------	-----	-------	-------

計画交通量	37,500台/日				
-------	-----------	--	--	--	--

費用対効果	B/C ：	総費用 ：	総便益 ：	基準年 ：
分析結果	(事業全体) 14.0	(残事業)/(事業全体) 16/135億円 事業費：15/133億円 維持管理費：1/1億円	(残事業)/(事業全体) 1,887/1,887億円 走行時間短縮便益：1,840/1,840億円 走行費用減少便益：45/45億円 交通事故減少便益：2/2億円	平成17年
	(残事業) 117.9			

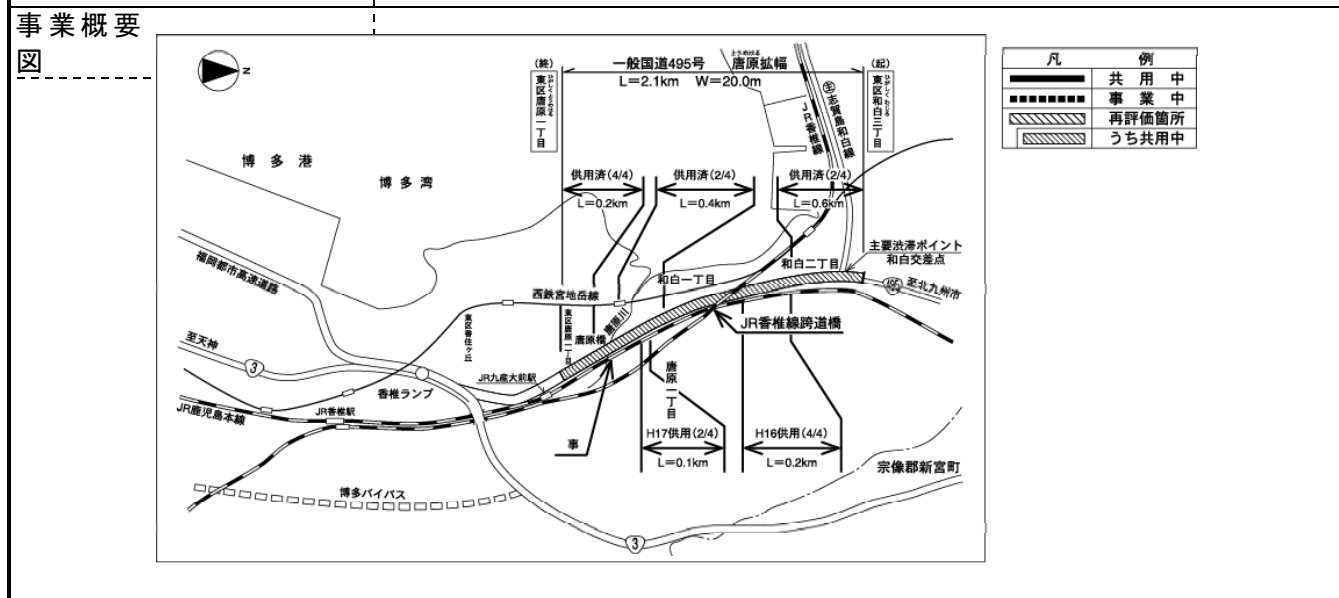
感度分析の結果：
 〃

事業の効果等
 本路線は、福岡市から北九州市に至る重要な幹線道路であり、唐原工区の拡幅が完了すると、渋滞ポイントの和白交差点を含む交通渋滞を解消でき、交通の円滑化が図れる。

関係する地方公共団体等の意見
 地元住民から早急な整備が要望されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 本路線の位置する福岡市東部地域は、国際コンテナターミナルであるアイランドシティ等の物流拠点が集積しており、今後も交通量の大幅な増加が見込まれている。

対応方針決定の理由：
 以上の状況より、事業の必要性、重要性は変わらないものである。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。